

Ⅰ．施設情報・代表建物の情報				
施設基本情報	施設名称	行田駅エレベータ・トイレ		
	代表所在地(地番又は住所)	壱里山町12-2	代表建築年度	H13 (2001) 年度
	所管課	道路治水課	構造・階層	S・2階建
	大分類(類型)	その他	経過年数	22 年
	中分類(機能)	その他	敷地面積	79.62 m ²
	配置形態・管理形態	単独 委託	延床面積	81.62 m ²
	建物所有状況	市所有	土地所有状況	借地
	借受面積(賃借の場合)	- m ²	借地面積(借地の場合)	- m ²
	避難所指定の有無	なし	駐車可能台数	0 台

Ⅱ．施設性能、財務情報、供給情報分析

※端数処理の関係で合計と内訳、単位あたりの数値が一致しない箇所がある

■ 施設性能分析(評価大分類)

当該施設の値
比較対象(同一分類)の他施設の平均値

評価大分類項目	I 施設	II 設備	III 安全	IV 環境	V 機能
当該施設の値	100	100	20	60	100
同一中分類の平均値	66	91	52	85	85

■ 供給状況(過去3年間の平均)

利用実績	当該施設	同一中分類平均
児童・生徒・園児数	- 人	20 人
学級数	- 組	2 組
開館・提供日数	- 日	141 日
年間延利用者数	- 人	47,485 人
年間利用・給食件数	- 件	2,260 件
資料数	- 点	- 点
入居戸数	- 戸	- 戸
開館日数(縦棒)	- 日(人)	6,228 日(人)
件数(折線)	- 件	24 件

【利用状況の推移】

令和3年度 令和4年度 令和5年度

凡例

開館日数(縦棒)日(人)

件数(折線)件

■ 財務情報(過去3年間平均)

歳出	当該施設	同一中分類平均
歳出合計	3,189 千円	5,107 千円
内訳		
人件費	258 千円	452 千円
需用費	674 千円	656 千円
委託料	2,257 千円	573 千円
土地・建物賃借料	0 千円	2 千円
工事請負費	0 千円	46 千円
その他維持管理費	0 千円	1,693 千円
指定管理料等	0 千円	1,687 千円
延床面積あたり(縦棒)	39,076 円	11,642 円
1日あたり(折線)	- 円	190,394 円
歳入	当該施設	同一中分類平均
歳入合計	0 千円	2,353 千円
施設利用	0 千円	2,403 千円
その他	0 千円	25 千円
補助金等	0 千円	0 千円
延床面積あたり(縦棒)	0 円	1,059 円
1日あたり(折線)	- 円	1,305 円

【歳出の推移】

令和3年度 令和4年度 令和5年度

【歳入の推移】

令和3年度 令和4年度 令和5年度

凡例

当該施設

延床面積あたり

1日あたり(折線)

分類平均

延床面積あたり

1日あたり(折線)

Ⅲ．施設評価結果によるポートフォリオ(機能別評価)

■ 費用対効果分析【供給グラフ折線×㎡あたり収支(工事請負費除く)による比較】

【当該施設の評価】比較対象なし

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(同一分類)の他施設

※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。

■ 一次評価【費用対効果分析×施設性能分析による比較】

【当該施設の評価】C2

区分	対応	方向性の考え方
A	継続	現状維持・長寿命化を基本とする
B1	向上	施設性能の向上を検討する
B2	向上	費用対効果の向上を検討する
C1	改善	施設性能の改善を検討する
C2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する
C3	改善	費用対効果の改善を検討する
D1	見直し	施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する
D2	見直し	費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する
E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(同一分類)の他施設

※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。

Ⅳ．機能及び施設の現状と課題		
■ 現状における施設の課題と対応(現状で課題がない場合でも今後10～20年程度を想定して記載)		
	機能(サービス)	施設(建物)
課題	・駅利用者の衛生環境及び生活環境向上に寄与している。 ・トイレは設備全体が老朽化してきており、省エネ性能の高い器具等へ更新が必要と思われる。	・新耐震基準に対応した建物であるが、築19年を経過し、雨漏れや経年劣化による破損が今後懸念される。 ・エレベータは、現行の規定に対し『既存不適格』となっており、改修工事の検討が必要。
対応方針	利用者が快適に利用できるように、現状を維持する。	・日常的に施設点検を行い、損傷箇所等を発見した場合は、修繕を実施し、現状を維持する。 ・エレベータ改修工事の検討を行いつつ、現状を維持する。

施設カルテ（調査票）

行田駅エレベータ・トイレ

令和 6 .3.31時点

I 施設・建物情報

施設基本情報	施設名称	行田駅エレベータ・トイレ		会計名	普通会計				
	施設番号	182		カルテ番号	177-016080-01-134				
	所在地（地番又は住所）	壱里山町12-2		所管課	道路治水課				
	大分類	その他		中分類	その他				
	延床面積施設計	81.62	m ²	敷地面積	79.62	m ²			
	建物所有状況	市所有		土地所有状況	借地				
	うち借受建物面積		m ²	うち借地面積		m ²			
	小学校区	泉小学校通学区域		中学校区	西中学校通学区域				
	管理形態	委託		配置形態	単独				
	指定管理・委託先名	JR高崎鉄道サービス㈱、フジテック㈱							
複合・併設の状況									
避難所指定	なし		駐車可能台数	0 台					
建物基本情報 ※欄が不足する場合には4ページ以降に続きを記載	1	建物名	行田駅エレベータ棟（清水町）		主体構造	S	階数(地上・地下)	2	0
		大規模改修実施年度		延床面積	21.44	m ²	建築年度	2001	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	22	年
	2	建物名	行田駅エレベータ棟（壱里山町）		主体構造	S	階数(地上・地下)	2	0
		大規模改修実施年度		延床面積	24.29	m ²	建築年度	2001	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	22	年
	3	建物名	行田駅公衆トイレ		主体構造	CB	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	35.89	m ²	建築年度	2001	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	22	年
	4	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	5	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	6	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	7	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	8	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	9	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	10	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年

施設カルテ（調査票）

Ⅱ 財務情報（コスト）

単位：千円（端数処理の関係で過去3年の平均と各年度の合計が一致しない箇所がある）

		過去3年の平均	令和3年度	令和4年度	令和5年度
運営 人員	正規職員数	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
	再任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	会計年度任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
施設運営人員 計		0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
人件費		258	255	260	260
需用費【光熱水費】		600	596	648	555
需用費【修繕料】		38	0	114	0
需用費【その他】		37	41	28	41
委託料（施設維持管理）		2,257	2,268	2,270	2,232
指定管理料		0	0	0	0
土地建物等賃借料		0	0	0	0
工事請負費		0	0	0	0
その他維持管理経費		0	0	0	0
①歳出合計		3,189	3,160	3,320	3,088
施設利用収入		0	0	0	0
その他の収入		0	0	0	0
補助金等収入		0	0	0	0
②歳入合計		0	0	0	0

財務 指 標	施設収支（①-②）	3,189	千円	収支割合（②÷①）	0.0	%
	利用者あたりコスト	-	円/人	利用件（点）数あたりコスト	-	円/件
	1㎡あたりコスト	39,076	円/㎡	入居戸数あたりコスト	-	円/戸

Ⅲ 供給情報（利用）

※定員等については各施設に定めのある定員または過去3年間の平均値を記載

		定員等	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設 利用 状況	児童・生徒・園児数		人	人	人
	学級数		組	組	組
	開館・提供日数		日	日	日
	年間延利用者数		人	人	人
	年間利用・給食件数		件	件	件
	年間貸出資料数		点	点	点
	入居戸数		戸	戸	戸

運営情報	設置目的	交通拠点整備													
	設置根拠（設置条例等）	都市環境整備事業													
	業務内容等	公衆用トイレ、エレベータ													
	目的外使用	無	目的外の内容												
	運営時間（平日）	5	:	00	～	25	:	00	運営時間（休日）	5	:	00	～	25	:
その他制限等	建物解体等の制限	ＪＲ駅通路と直結しており協議が必要													
	その他特記事項	今後、施設の経年劣化、損傷による維持管理費の増加が見込まれる。													

施設カルテ（調査票）

Ⅲ 供給情報（利用）続き

供給指標	過去3年の平均利用者数	-	人	過去3年の平均学級数	-	組
	過去3年の平均開館日数	-	日	過去3年の平均利用件数	-	件
	過去3年の平均貸出資料数	-	点	過去3年の平均入居戸数	-	戸

Ⅳ 施設性能調査結果

分類		内容	
Ⅰ 施設	建物の外壁	建物の外壁修繕（外壁の塗り替え・張り替え等）は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成20年度以降に修繕を行っていない、又は平成19年度以前に修繕を行っている。 2：平成20年度以降に竣工、又は修繕を実施しているが、目視で確認できる劣化（ヒビ割れ・タイル浮きなど）がある。 3：平成20年度以降に竣工、又は修繕を実施しており、外壁に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	
	建物の屋根・屋上	建物の屋根・屋上の防水工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成6年度以降に工事を行っていない、又は平成5年度以前に工事をしている。 2：平成6年度以降に竣工、又は工事を実施しているが、雨漏りや目視で確認できる劣化（防水層の破損など）がある。 3：平成6年度以降に竣工、又は工事を実施しており屋根・屋上に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	
	耐震性能	建物は耐震性を有していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が無い。 2：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が有る。又は、耐震改修する必要がない。 3：新耐震基準に基づく建物である。 4：不明 ※耐震基準が不明な場合は、建築年が昭和56年6月1日以降の場合は新耐震基準、それ以前の場合は旧耐震基準とした。
		3	
		備考	
Ⅱ 設備	冷暖房	冷暖房設備に支障はありますか。	
		回答	【回答の内容】 1：支障あり（備考欄に支障内容を入力してください） 2：支障はあるが軽微なもの 3：支障なし 4：不明 5：該当なし
		5	
		備考	
	給排水	建物の給排水管の更新工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成6年度以降に更新工事を行っていない。 2：平成6年度以降に竣工、又は更新を実施しているが、漏水や赤水、詰まり、水圧不足等が生じている。 3：平成6年度以降に竣工、又は更新を実施しており、問題が無い。 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	
Ⅲ 安全	防災管理	消防用設備等・特殊消防用設備等点検・報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		5	
		備考	
	安全管理	特殊建築物定期点検報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		1	
		備考	エレベータ既存不適格あり
Ⅳ 環境	環境保全	太陽光パネルやLED照明等の省エネルギー設備を導入していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未導入 2：検討中 3：導入済 4：不明 5：該当なし
		2	
Ⅴ 機能	バリアフリー	バリアフリー（誘導ブロック、手すり、スロープの設置等）への対応ができていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未対応 2：一部対応済 3：対応済 4：不明 5：該当なし（市民利用がなく、対応不要） ※概ね全体の7割程度が対応している場合は「3」、7割未満だが一部対応している場合は「2」を選択している
		3	
		備考	

施設カルテ（調査票）

I 施設・建物情報（続き）

建物基本情報 2	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	11 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	12 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	13 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	14 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	15 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	16 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
	17 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
18 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
19 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
20 大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	

V 施設現況

施設写真

